



特色ある学校づくりに係る資料（平成29年度）

| | | | | | |
|----|----|-----|-----------|------|-------|
| 学番 | 66 | 学校名 | 県立出雲崎高等学校 | 校長氏名 | 森川 幸彦 |
|----|----|-----|-----------|------|-------|

I 校長として目指している学校像

1 柔軟な学びを可能とする学校

- 単位制高校の特性を生かして生徒の多様な学習歴や適性に柔軟に対応し、個に応じた教育を展開することにより、生徒の個性、能力を伸ばす。
- きめ細かな学習指導と進路指導、外部人材も活用した相談体制等により、生徒の進路実現と社会人としての自立を達成する。

2 特別支援教育を推進し、全ての生徒の学びと自立を支援する学校

- 全教職員の協働と専門機関との連携による特別支援教育を推進し、基礎学力の定着、基本的生活習慣の確立、進路の決定に向け、全ての生徒の学びと自立を支援する。

3 生徒が安心して学び、保護者が安心して子どもを託せる学校

- 自他の生命と人格を尊重する態度を育て、いじめの起こらない学校づくりに不断に取り組み、問題発生時には組織として迅速に対応する。

4 地域の一員として役割を果たす学校

- 地域と連携して生徒の能力の伸張を図り、地域の期待に応じて地域活性化に貢献する。

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 自省することを忘れず、他者の人格を尊重する教師
- 前例踏襲に留まることなく、工夫、改善を指向して取り組む教師
- 生徒の個性、能力を伸ばすために努力する、努力しようとする教師
- 生徒の心に届く言葉で指導できる、指導しようとする教師

III オンリーワンスクールの取り組み

1 単位制高校の特性を生かしたきめ細かな指導

- 習熟度別授業、少人数授業、ティームティーチング、多様な学校設定科目
- 1クラス2人担任制

2 ユニバーサルデザイン化の推進

- 全ての生徒の学びやすさ、生活しやすさに配慮した授業づくりと学校づくり

IV 本校の歩みと特色

- 昭和23年に全国でも数少ない村立の高等学校として創立され、昭和27年から県立西越高等学校、平成14年に単位制の定時制課程に改組して出雲崎高等学校となりました。創立以来の「心耕」（心を耕す）の理念を引継いでいます。
- JR出雲崎駅から徒歩5分の位置にあり、地元出雲崎町をはじめ、柏刈、長岡、県央、西蒲地域等から生徒が通学しています。
- 教育課程は生徒の興味関心や進路希望など多様なニーズに対応しています。